

その時

十月三十一日、朴正熙大統領の命、三十四年
忌遠悼式がソウルで行われ、父は生きてゐる時に
拍手をあびるやうに父の評価を受けける事を
望んでゐたといふ懐、朴権恵女史のコメントが発表
されてゐた。
故大統領再評価の気運がホットな中、今は
ハニエラ党副総裁の朴女史の来日、十月十七日に
決より来日した。
国会議員朴女史は河野洋平外務大臣を呼び、
外務省の招聘として、接遇を受けられますが、
日韓交渉などは、崔書勉先生は父君大統領の
執親として、私も同志は叔父子、陸寅修氏の
親しい友人として、お逢えしたいと思つて居ます。
将来も期待、朴女史との意見交換、父君大統領の
思い出話等も、伺はたい、心はより夕食会を催
す事には向かふつもりだ。

このときお集り合はせ、お参席、下は、お参席、
お参席、由、甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸、

一九九九年十一月十五日

敬具

崔書勉先生を囲む会
日韓交渉定 世話人